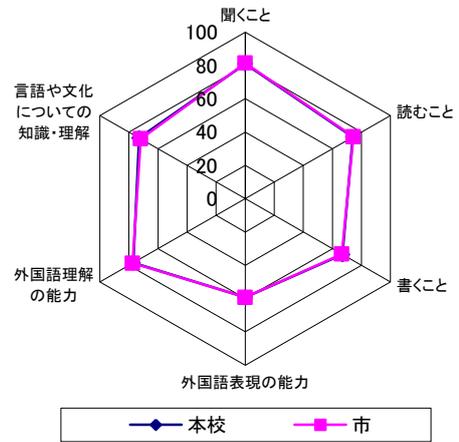


宇都宮市立陽東中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	81.1	81.4	76.1
	読むこと	74.1	74.4	71.2
	書くこと	67.0	66.5	60.7
観点別	外国語表現の能力	59.1	59.3	51.7
	外国語理解の能力	77.1	77.5	72.8
	言語や文化についての知識・理解	72.9	72.0	69.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>○教科の正答率を宇都宮市と比べて、ほぼ同等の結果となった。内容を分析してみると、対話の内容を聞き取り、適切に回答する問題で、「許可を求められる表現」に対する表現は7ポイントほど高かった。</p> <p>●しかし、「依頼される表現」に対する正答率が4ポイント下回った。</p> <p>中1のときの聞き取りの全体の正答率は、市の平均とほぼ同等の結果であった。長文の読み取りでスピーチの内容をふまえた感想を書く問題では約3ポイント上回った。また、代名詞themの内容を把握する問題では市とほぼ同等であったが、中1の下線部の内容を答える問題では5ポイント低かった。</p> <p>●内容を分析してみると、英文と資料の情報・条件をもとに、相手の意向に適切に応じる問題の正</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>今後の指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業の中で、まとまった英文を聞かせ、内容の要点を聞き取るような活動を取り入れる。 ・英問英答の力を身に付けさせるために、テストの際だけではなく、普段の授業の中にも英語で質問をし、答えを英語で書かせる活動も入れていきたい。 ・「依頼される表現」など使用場面が限定される場面での応答にも復習を交え、定着を図りたい。
読むこと	<p>○宇都宮市と比べて、0.5ポイント高かった。語彙・知識・理解の問題では単語を正しく書くことを求められ、全ての問題で市の平均を上回っていた。中1の時には単語を正しく書く問題の正答率は市の平均を下回るものが多かった。</p> <p>●単語の並び替えの問題でIt is...for...toでは市の平均を上回ったが、moreを使った比較級の文では10ポイントほど低かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指示詞の内容を把握する問題は、中1のときの下線部の内容を答える問題の正答率と比べ、大きな改善があったといえる。授業で指示詞の内容を確認する機会を増やしたことや、生徒が長文読解を繰り返したことで問題を読み取る力が付いてきたことがわかったので、今後も継続していきたい。
書くこと	<p>○宇都宮市と比べて、0.5ポイント高かった。語彙・知識・理解の問題では単語を正しく書くことを求められ、全ての問題で市の平均を上回っていた。中1の時には単語を正しく書く問題の正答率は市の平均を下回るものが多かった。</p> <p>●単語の並び替えの問題でIt is...for...toでは市の平均を上回ったが、moreを使った比較級の文では10ポイントほど低かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単語テストを授業ごとや、単元ごとに行ってきたことが着実に生徒の語彙力の教科につながった。また、授業中に単語を発音させる活動なども意味の定着に効果があったのではないかと考えられる。 ・it is for toの文に比べ、比較級の文の問題における正答率の低さは2年の内容をきちんとしていないことがよくわかった。授業の復習なども3年生だけの内容でなく、過去の内容も踏まえて定着を図りたい。